

子ども食堂あわらに開店

「いただきまーす」。あわら市田中々に22日、手作りの食事子どもを支える「こども食堂 まる」がオープンした。市内の子どもや親子約10人が訪れ、にぎやかな夕食を楽しんだ。

栄養士2人 2・4金曜日に営業

食堂は「あわら敬愛こども園」に隣接する介護施設内。家庭の事情で1人でごはんを済ませたり、満足な食事ができなかったりしている6〜18歳を対象に、1食300円で提供する。

この日のメニューは手巻きずしや天ぷら、みそ汁、スイートポテトなど。夕方に集まった子どもらは、こども園で遊んだ後に食堂に移動。食器や料理を運び、午後7時から食卓を囲んで食べた。

開設を思い立ったのは、料理を担当する志田尚美さん(31)＝あわら市＝と山崎佳子さん(54)＝福井市＝、ともに管理栄養士だ。東京都内や敦賀市内など各地で

10園協力、資金出し合う

同様の活動が広がっているのを知り、「嶺北でも」と動き始めた。

具体化したのは昨年11月。あわら市の紹介で同じこども園の渡辺一幸園長(55)に相談に行くと、「やりましよう」と即断してくれた。渡辺園長は「不登校の子がこの園で昼ごはんを食べ、園児たちとふれあう中で学校に通えるようになった。同じような取り組みができないかと思っていた矢先だった」と振り返る。

運営には、同じこども園を含む市内の10こども園が協力。資金を出し、保育士を派遣する。志田さんは「子どもが大切という共通の思いで実現した食堂。楽しく食べる場にしていきたい」と話した。

営業は第2・4金曜日の午後4〜8時ごろ。原則前日までの予約制。問い合わせは渡辺園長(090・6270・6474)。

(堀田浩二)



「こども食堂 まる」で夕食を楽しむ子どもとボランティアスタッフ＝あわら市田中々